

# あきをたのしもう

ここが  
ポイント

単元で大切なのは、秋の事象との出会い＆つながり！

単元構成を考える時に、大切にしたいのは秋の事象とどう出会い、子どもの意識とどうつながっていくかということです。ここでは、2つの例を挙げます。

## 例1 「秋の遊び博士になろう！」

「けんきゅうじょ」というネーミングを付けることで、風、葉や実など、そのもの自体に目を向け、不思議さや面白さに気付いていくようにします。



あきを さがそう

食べ物や服装のことなどを日常的な話題に。

## 秋の遊び博士になろう

P20～p23

かぜ けんきゅうじょ

かぜは どこに いるのかな?  
かぜのおもちゃを つくろう・あそぼう

「風」「葉や実」との出会いを演出します。「秋の遊びって面白そう」という期待感を大切にします。

風を探し、風と仲良くなったりで、風のおもちゃ作りに入ります。

はっぱと み けんきゅうじょ

屋外で、葉や実の変化、面白さに気付き、「教室の中でも遊びたい！」という思いをもちます。

みつけたあきを しょうかいしよう  
おもちゃを つくろう  
みんなで あそぼう

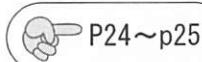
p24～p25

## 秋でたくさん楽しめたよ！

## 例2 「めざせ！外遊び名人」

「外遊び名人」と題して、「どんな場所でも、遊びを生み出して楽しめる自分」を目指します。

### 外遊び名人になろう



P24～p25

#### 公園で楽しく遊ぼう

公園で「外遊びがうまくいった！」という思いをもった子どもたちが次に出会うのは何もない場所。ここで、「風」と出会います。

遊具 広場 葉や実

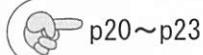
公園で遊具や、葉や実を使って遊び、名人を目指します。

あれ？ 次は何もない場所だよ。

△風との出会い

#### 風さんと遊べたら名人になれそう

風さん調査



おもちゃを作って遊ぼう

何もない場所でも遊べたよ！外遊び名人になったよ！

#### 《国語科との関連》

生活科に夢中になっている子どもたちの、生き生きとした言葉を国語科で生かします。生活科の時に、付箋で気付きを残し（国語科の「文を集める」学習につなげます）、その言葉を生かすことが、文章の内容を充実させることにつながります。

